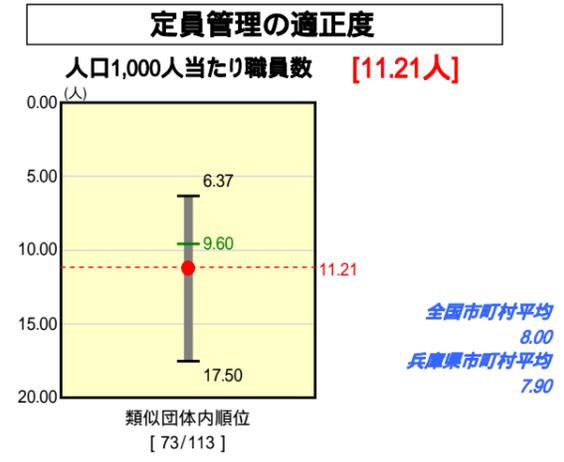
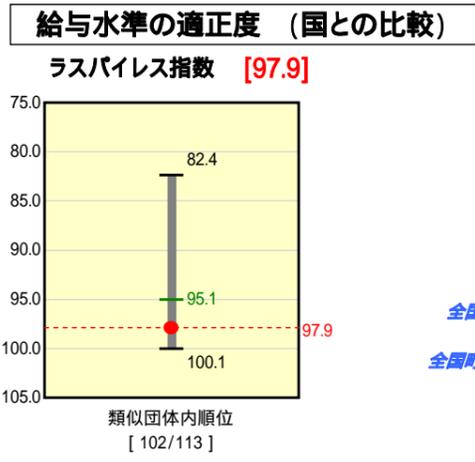
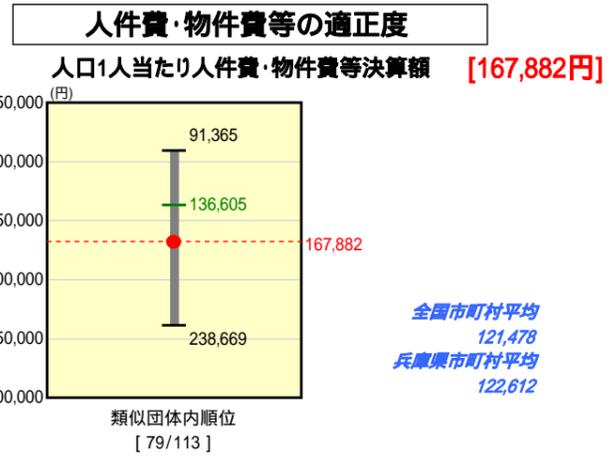
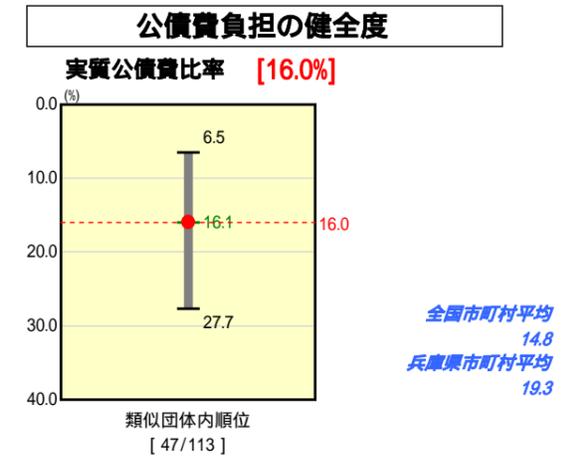
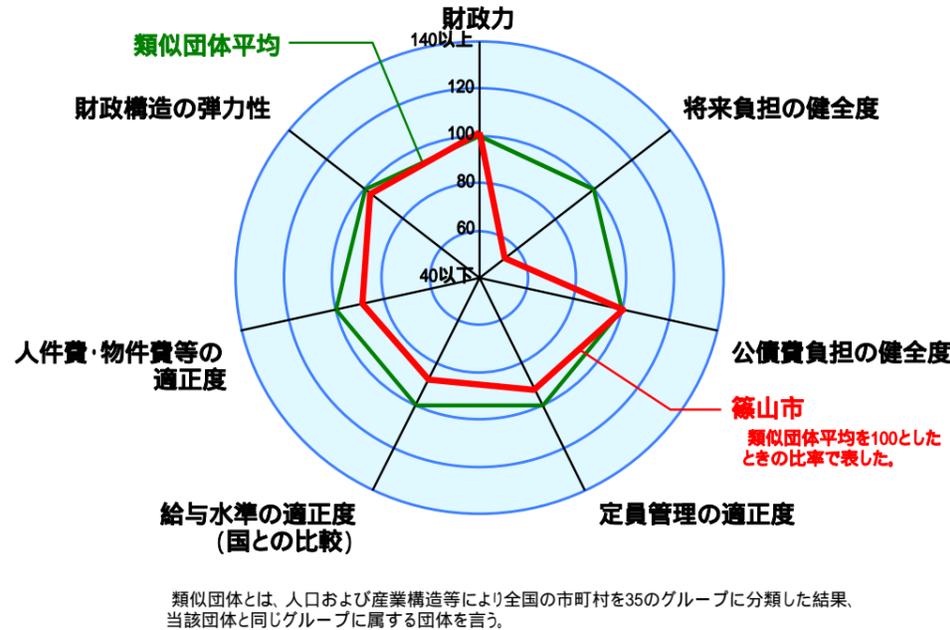
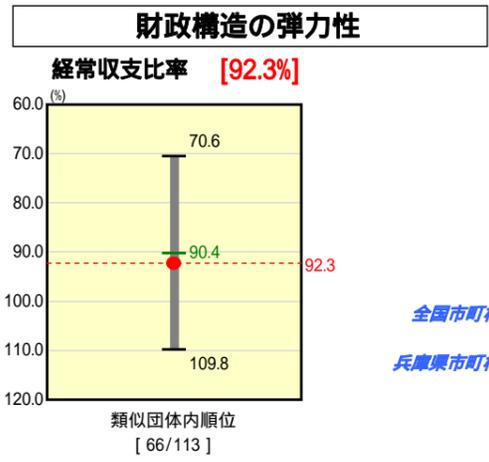
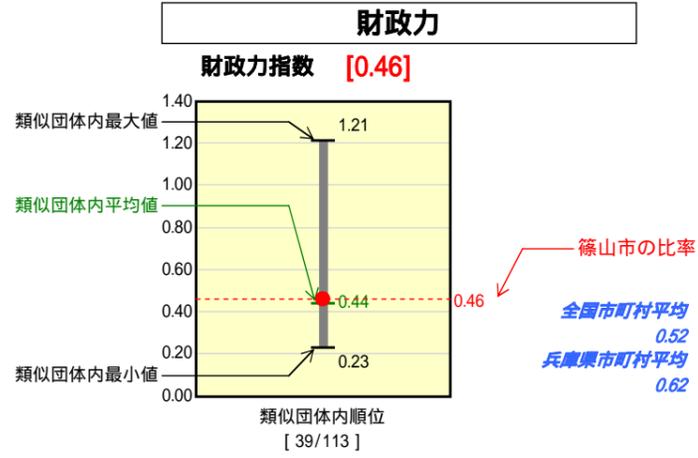


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 兵庫県 篠山市

人口	46,375 人(H18.3.31現在)
面積	377.61 km <sup>2</sup>
歳入総額	23,354,196 千円
歳出総額	22,842,036 千円
実質収支	390,360 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 税収の伸び悩みに加え、地方債の償還が増加傾向にありここ数年財政力指数が低下してきており、類団平均値とほぼ同じ指数となった。今後は企業誘致等による市税の増や行政改革や繰上償還等を行い健全財政に努めていく。

**経常収支比率:** 市税の増などにより昨年度より数値が改善し92.3%となったが、依然として類団平均値よりやや高い数値となっている。これは、地方債の償還額が多いことや公共施設等の維持管理経費が多いことなどが原因と考えられる。今後は指定管理者制度などの外部委託や施設の整理統合により経費の圧縮に努めていく。

**実質公債費比率:** 類団平均値とほぼ同じ16.0%であるが、合併時の懸案事項の早期解決に向け事業に取り組んできたため地方債の償還額が増加しており指数の悪化が見込まれる。今後は事業精査による地方債発行の抑制及びさらなる繰上償還等に努めていく。

**人口1人当たり地方債現在高:** 類団平均値が2%ほど悪化する中で本市については2%ほど数値が改善したが、類似団体に比べて2倍を超える地方債現在高となっている。しかしながら、残高のうち約6割が後年度の地方交付税により措置される。

有利な地方債を活用しており、今後も新規発行の抑制や有利な地方債活用及び繰上償還等により財政基盤の健全化に努めていく。

**ラスパイレス指数:** 合併以前の旧町間における給料格差の是正措置を行った結果、類似団体平均を上回っている。平成18年度より給与構造改革の制度を導入し、給与水準の引下げを行い、給与の適正化を進めている。今後においても類似団体等の給与水準や財政状況等を勘案する中で、より一層の適正化に努めていく。

**人口1000人当たり職員数:** 平成17年度に策定した第2次定員適正化計画に基づき、平成26年度までの10年間に、100人減の合計509人を目指し職員の削減に努めていく。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 類団平均値よりも約2割多い額となっている。これは合併による施設の統合がすすんでおらずかかる人件費について縮小されてきていないことや、清掃センターをはじめとする合併後に整備した施設の維持管理経費が多いのが原因とおもわれる。今後は適正な定員配置、施設の運営、維持管理の見直しに努めていく。